

タイトル	～木曾馬と木曾馬の里の環境を活かした学習～
名称（学校・地域）	長野県木曾養護学校
日時・場所等	4月～11月 木曾馬の里（開田高原）
ホームページアドレス	<a href="http://www.nagano-c.ed.jp/kisoyou/">http://www.nagano-c.ed.jp/kisoyou/</a>

## 【木曾馬と木曾馬の環境を活かした学習】

### 1 「馬の学習」のはじまり

「馬の学習」は、木曾馬とその木曾馬の里の環境を活かした学習です。木曾地域の素材を学習に活かすという基本方針のもと、全校遠足から発展して、特色のある教育活動として教育課程に位置づけられています。

### 2 定期的な馬の学習

「馬の学習」の中で、年間を通して「木曾馬の里」に出かけて行う学習が「定期的な馬の学習」です。児童生徒と保護者及び担任の希望から参加者を決定し、前期10回、後期10回の計20回実施します。「定期的な馬の学習」は、自立活動の一部として教育課程に位置づけ、本人・保護者の願いに寄り添いながら、目標を達成できるように具体的な学習内容や方法を考えて学習活動を行っています。

「定期的な馬の学習」は、毎週火曜日に設定されています。前日から馬の学習を楽しみにしている児童生徒の姿が多く見られます。木曾馬自体に大変魅力があり、学習の意欲を高めてくれる存在です。

「木曾馬の里」では、到着後、乗馬だけでなく、馬が住んでいる厩舎の掃除（厩務作業）や起伏にとんだ山道の散歩、放牧されている馬へのえさやりやブラッシング等の個々の児童生徒に合わせた活動を行います。厩務作業には、任された作業への責任感や達成感、友達と協力して行うことで育つ仲間意識、指導員さんとのやりとり等、児童生徒たちの社会性の発達に影響を与えてくれる活動が豊富に含まれています。また、乗馬には、身体へのアプローチとともに、馬に身体を預け、体温を感じ、揺れを楽しむことで心理的な安定に繋がる要素があります。

このように、様々な学習活動が準備でき、児童生徒の主体的な行動を引き出し、積極的に活動に取り組むことができる「馬の学習」は、素晴らしい地域の教材・素材としての可能性があります。指導員さんと連携しながら「馬の学習」の充実を目指しています。

